

那須塩原市
新庁舎建設基本計画
(改定素案)に関する提言書

令和4年12月

那須塩原市議会



はじめに

那須塩原市議会では、令和3年6月定例会議において庁舎建設検討特別委員会を設置し、平成31年3月に議決した「新庁舎建設基本計画」及び、平成31年に策定を決定したもののコロナ禍の影響により令和3年3月に議決となった「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン」に基づき、新庁舎の建設に関する調査・検討を行ってまいりました。

現在、執行部においては、「新庁舎建設基本計画」を「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン」及び社会情勢の変化に対応したものとするため、一部を改定する計画案をとりまとめる段階にあります。

そこで、本委員会では、市民サービスの充実と魅力ある県北の拠点を具現化する新庁舎づくりを目的に、他自治体の整備事例の調査及び、新庁舎に必要な機能や整備等について検討と議論を重ね、考え方をとりまとめましたので、今後の新庁舎建設事業への反映を求め、ここに提言を行います。

令和4年12月15日

那須塩原市議会議長

庁舎建設検討特別委員長

松田 寛人

眞壁 俊郎

提 言

1. 市民の意見を踏まえた基本構想、基本計画を忠実に反映した設計品質の確保に努めること。加えて、公共施設を建築した際の知見を活かし、物価の変動等環境変化への迅速な対応と、地元企業が建設に携われるよう検討すること。
2. 限られた庁舎スペースを有効に活用するため、市民交流スペースを機能重視の用途への活用や、民間活力の利活用を計画に位置付けた生活利便施設の設置を含め、十分に検討すること。
3. 駐車スペースについては、脱炭素社会実現に向けた公共交通の利用促進と、人口の将来推計と、庁舎利用者数の実績、職員数等の推移を総合的に勘案し、必要なスペースを確保すること。
4. 新庁舎の建設がこれまで延期されてきた経緯を鑑み、計画期間内での完成を厳守すること。